

【キーワード】

〔施設種別〕高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅（）
 〔運営主体〕市区町村 法人 NPO 個人 〔補助金〕内閣府 国土交通省 厚生労働省（）
 〔建物形式〕1棟単体型 複数棟集合型 団地型 〔建物状況〕新築 増築 改修 一部改修 既存
 〔対象者〕高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 外観写真（HPより）

社会福祉法人佛子園が運営する、創作活動をコンセプトに作られた新しい障がい者デイサービス。銀行を改築して作られた施設は、1階は高い天井を生かしたスタジオ、2階はこじんまりとしたアトリエ空間になっている。障がいを抱えた子どもも大人も、自分の個性を生かした活動ができるようにという考えのもと、放課後デイサービスや就労支援などの事業を行う。

■施設概要

所在地：石川県金沢市三馬1丁目369

サービス内容：児童発達支援

放課後等デイサービス（10名）

日中一時支援、相談・情報提供

就労継続支援B型（10名）

運営主体：社会福祉法人佛子園

運営開始：2007年

■運営概要

もともと、この近くには特別支援学校があり、障がい者デイサービスを運営する事業所は多かった。そんな中で、社会福祉法人佛子園が2007年、芸術活動を取り入れた新しいタイプの障がい者デイサービスを始めた。

施設は、元銀行の建物の改築で障がい者施設を感じさせないオシャレな外観である。建物は2階建てで、元銀行の天井高を生かして1階はスタジオ、2階はこじんまりとしたアトリエ空間になる。スタジオの奥にはキッチンとロッカールームが並び、2階のアトリエにはスノーズ室が隣接する。

芸術活動といっても様々で、演劇や和太鼓といった体を大きく使うものから、陶芸や絵画などじっくり集中して取り組むものもある。1階のスタジオは暗幕や鏡張りの壁があり、内容に合わせて室を変化させて活動を行う。

放課後デイサービスの定員は10人、就労支援B型の定員も10人であるが、その時により利用は前後する。

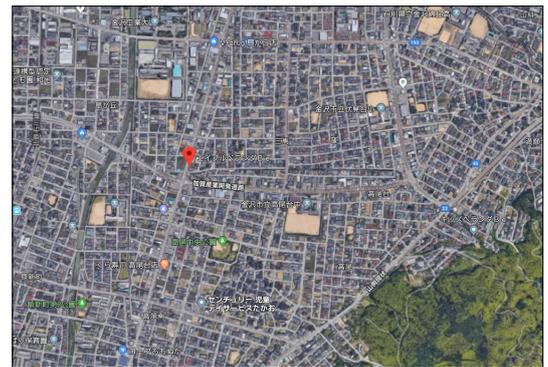


写真2. 周辺状況（google mapより）

金沢南郊の住宅地に位置し、東側にキッズベランダ Beがある。車で15分ほどのところに特別支援学校がある。



写真3. ベランダ Be ロゴ（HPより）

エイブルベランダとキッズベランダに共通で使われているロゴは、ベランダ Be ができたときに障がい児が描いたビー玉をそのまま使っている。

参考文献（←段落スタイル「図版タイトル」と同じ）

1) 社会福祉法人佛子園 HP

<http://bussien.com/veranda/index.html>

放課後デイは、多い日で一日15人ほどが利用するという。

社会との交流

芸術・創作活動の活動プログラムは、本物の専門家を講師として招いて行う。利用者は用意されたプログラムではなく、自分の好みに合わせた活動で自分を存分に表現する。そうした創作活動は、利用者にとって自己を表現する場であるとともに、社会（講師）と接する大拙な機会になる。

■他施設との交流

エイブルベランダでは、施設内プログラムのほかに施設外との連携プログラムを行っており、シェア金沢や輪島カブーレといった、同法人が運営するほかの施設へのお出かけ、やキッズベランダ Be との合同イベントを開催し、日常の関わりの外に出る体験も多い。



写真4. デイルーム（1Fスタジオ）

メインの活動の場であり、キッチンやロッカールームが隣接する。ここで演劇やダンス、和太鼓などの活動が行われるほか、食事や個別活動の場にもなっている。



写真5. デイルームと屋外との関係

銀行当時の作りのまま、デイルームは大通りに面してガラス張りで、屋外と屋内で活動の様子をうかがうことができる。暗幕で仕切れることも可能だ。



写真6. アトリエ

2階はアトリエになっており、陶芸や絵画などのものづくりが行われる。壁面が収納になっており、今までの作品を保存している。



写真7. 西園寺のロゴ

西園寺のタオルのロゴは、エイブルベランダでプリントされている。これも就労支援の一環